



N-シクロヘキシル-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド
の細菌を用いる
復帰突然変異試験

厚生省生活衛生局 委託

財団法人食品薬品安全センター

秦野研究所

【目 次】

	頁
要 約	1
緒 言	2
材料および方法	3
結果および考察	7
結 論	7
特 記 事 項	8
文 献	8
Tables 1~3	

【要 約】

N-シクロヘキシル-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミドの変異原性の有無を、細菌を用いる復帰突然変異試験により検討し、陰性の結果を得た。

検定菌として、*Salmonella typhimurium* TA100、TA1535、TA98、TA1537 および *Escherichia coli* WP2 *uvrA* の5菌株を用い、S9 mix 無添加および添加の条件でプレートインキュベーション法により用量設定試験および2回の本試験を行った。用量設定試験を50.0~5000 $\mu\text{g}/\text{プレート}$ の用量で行ったところ、S9 mix 無添加試験においては、TA1537では150 $\mu\text{g}/\text{プレート}$ 以上で、S9 mix 添加試験においては、TA1537では500 $\mu\text{g}/\text{プレート}$ 以上、TA100では1500 $\mu\text{g}/\text{プレート}$ 以上で抗菌性が認められた。したがって、本試験はS9 mix 無添加試験および添加試験ともに、最高用量を5000 $\mu\text{g}/\text{プレート}$ (TA100のS9 mix 添加試験は2000 $\mu\text{g}/\text{プレート}$ 、TA1537のS9 mix 無添加試験は400 $\mu\text{g}/\text{プレート}$ 、添加試験は1000 $\mu\text{g}/\text{プレート}$) として、公比2で5~7用量を設定して実施した。

その結果、用いた5種類の検定菌のいずれの用量においても、溶媒対照値の2倍以上となる再現性のある復帰変異コロニー数の増加は認められなかったことから、*N*-シクロヘキシル-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミドは、用いた試験系において変異原性を有しない(陰性)と判定された。

【緒 言】

既存化学物質安全性点検に係る毒性調査事業の一環として、N-シクロヘキシル-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミドについて、細菌を用いる復帰突然変異試験をプレインキュベーション法¹⁾により実施した。

この試験は、サルモネラ（ネズミチフス菌）におけるヒスチジン要求性から非要求性への復帰突然変異²⁾、ならびに大腸菌におけるトリプトファン要求性から非要求性への復帰突然変異^{3, 4)}を指標とした変異原性の検出系である。

試験は、哺乳動物のもつ薬物代謝酵素（S9 mix）によって産生される被験物質の代謝物の変異原性を試験する S9 mix 添加試験と、被験物質をそのまま検定菌に作用させる S9 mix 無添加試験とからなっている。

本試験は、「新規化学物質に係る試験の方法について」（昭和62年3月31日、環保業第237号、薬発第306号、62基局第303号）および「OECD毒性試験ガイドライン：471、472」に準拠し、「化学物質GLP基準」（昭和59年3月31日、環保業第39号、薬発第229号、59基局第85号、改訂昭和63年11月18日、環企研第233号、衛生第38号、63基局第823号）に基づいて実施した。

【材料および方法】

〔検 定 菌〕

Salmonella typhimurium TA100
Salmonella typhimurium TA1535
Escherichia coli WP2 *uvrA*
Salmonella typhimurium TA98
Salmonella typhimurium TA1537

S. typhimurium の4菌株は1975年10月31日に
から分与を受けた。

E. coli WP2 *uvrA* 株は1979年5月9日に から分与
を受けた。

検定菌は-80℃以下で凍結保存したものを用い、各菌株の特性確認は、凍結保存菌の調製時に、アミノ酸要求性、UV感受性、および膜変異 (*rfa*) とアンピシリン耐性因子 pKM 101 (プラスミド) の有無について調べ、特性が維持されていることを確認した。

試験に際して、ニュートリエントブロスNo.2 (Oxoid) を入れたL字型試験管に解凍した種菌を一定量接種し、37℃で10時間往復振とう培養したものを検定菌液とした。

〔被 験 物 質〕

N-シクロヘキシル-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド (略称: CBTSA、CAS No. 95-33-0) は、分子量 264.41 の灰白色グラニュール状の固体である。構造式等は Appendixに示した。用いた被験物質は、ロット番号 純度 98.8% (不純物: 0.68 wt% ジベンゾチアジルスルフィド) であり、 から供与された。被験物質は、使用時まで密封して冷蔵した。

CBTSAは、ジメチルスルホキシド (DMSO、ロット番号: BSK4546、和光純薬工業(株)) に溶解して最高濃度の調製液を調製した後、同溶媒で公比約3ないし2で希釈し、速やかに試験に用いた。

〔陽性対照物質〕

用いた陽性対照物質およびその溶媒は以下のとおりである。

AF2	: 2-(2-フリル)-3-(5-ニトロ-2-フリル)アクリルアミド (上野製薬(株))	ロット番号 46,	純度99.9%
SA	: アジ化ナトリウム (和光純薬工業(株))	ロット番号 TWR3330,	純度90%以上)
9AA	: 9-アミノアクリジン (Sigma Chem. Co.)	ロット番号 96F05641,	純度98%以上)
2AA	: 2-アミノアントラセン (和光純薬工業(株))	ロット番号 DSF2950,	純度90%以上)

AF2 および 2AA は DMSO (和光純薬工業(株)) に溶解したものを -20°C で凍結保存し、用時解凍した。9AA は DMSO に、SA は純水に溶解し、速やかに試験に用いた。

〔培地および S9 mix の組成〕

1) トップアガー (TA菌株用)

下記の水溶液 (A) および (B) を容量比 10:1 の割合で混合した。

(A) バクアガー (Difco)	0.6%	(B)* L-ヒスチジン	0.5 mM
塩化ナトリウム	0.5%	D-ビオチン	0.5 mM

* : WP2 *uvrA* 用には、0.5 mM L-トリプトファン水溶液を用いた。

2) 合成培地

培地は、極東製薬工業(株)製の最少寒天培地 (ロット番号: HY0302、1995年9月29日製造) を用いた。なお、培地 1 ℓ あたりの組成は下記のとおりである。

硫酸マグネシウム・7水和物	0.2 g	水酸化ナトリウム	0.66 g
クエン酸・1水和物	2 g	グルコース	20 g
リン酸水素二カウム	10 g	バクアガー (Difco)	15 g
リン酸一アンモニウム	1.92 g		

径 90 mm のシャーレ 1 枚あたり 30 ml を流して固めてある。

3) S9 mix (1 ml中下記の成分を含む)

S9**	0.1 ml	NADH	4 μ mol
塩化マグネシウム	8 μ mol	NADPH	4 μ mol
塩化カルウム	33 μ mol	ナトリウム-リン酸緩衝液 (pH 7.4)	100 μ mol
グルコース-6-リン酸	5 μ mol		

** : 7週齢の Sprague-Dawley 系雄ラットをフェノバルビタール(PB)および 5, 6-ベンゾフラボン(BF)の併用投与で酵素誘導して作製した S9 (キッコマン株、ロット番号 RAA-333、1995年9月8日製造)を用いた。PB および BF の投与量は1日目 PB 30 mg/kg、2日目 PB 60 mg/kg、3日目 PB 60 mg/kg および BF 80 mg/kg、4日目 PB 60 mg/kg であり、いずれも腹腔内投与したもので、ラットの解剖および S9 の調製は5日目であった。

[試験方法]

プレインキュベーション法により、S9 mix 無添加試験および S9 mix 添加試験を行った。

小試験管中に、被験物質調製液 0.1 ml、リン酸緩衝液 0.5 ml (S9 mix 添加試験においては S9 mix 0.5 ml)、検定菌液 0.1 ml を混合し、37°Cで20分間往復振とう培養したのち、トップアガー 2 mlを加えて混和し、合成培地平板上に流して固めた。また、対照群として被験物質調製液の代わりに使用溶媒、または数種の陽性対照物質溶液を用いた。各検定菌ごとの陽性対照物質の名称および用量は各Table 中に示した。溶媒および陽性対照群は、同時に実施した他の試験と共通とした。培養は37°Cで48時間行い、生じた変異コロニー数を算定した。抗菌性の有無については、肉眼的あるいは実体顕微鏡下で、寒天表面の菌膜の状態から判断した。用いた平板は用量設定試験においては、溶媒および陽性対照群では3枚ずつ、各用量については1枚ずつとした。また、本試験においては、両対照群および各用量につき、3枚ずつを用い、それぞれその平均値と標準偏差を求めた。用量設定試験は1回、本試験は同一用量について2回実施し、結果の再現性の確認を行った。

〔判定基準〕

用いた5種の検定菌のうち、1種以上の検定菌の S9 mix 無添加あるいは S9 mix 添加条件において、被験物質を含有する平板上における変異コロニー数の平均値が、溶媒対照のそれに比べて2倍以上に増加し、かつ、その増加に再現性あるいは用量依存性が認められた場合に、当該被験物質は本試験系において変異原性を有する（陽性）と判定することとした。ただし、2回の本試験の一方でのみ変異コロニー数の平均値が溶媒対照値の2倍以上となる用量が認められた場合において、その溶媒対照値が10以下であり、変異コロニー数の増加に用量依存性が認められない場合は陰性とする事とした。

【結果および考察】

〔用量設定試験〕

CBTSAについて 50.0~5000 $\mu\text{g}/\text{プレート}$ の範囲で公比を約3として、試験を実施した (Table 1)。その結果、S9 mix 無添加試験においては、TA1537 では 150 $\mu\text{g}/\text{プレート}$ 以上で、また S9 mix 添加試験においては、TA1537 では 500 $\mu\text{g}/\text{プレート}$ 以上、TA100 では 1500 $\mu\text{g}/\text{プレート}$ 以上で抗菌性が認められた。

したがって、本試験における最高用量は、S9 mix 無添加試験および添加試験とも 5000 $\mu\text{g}/\text{プレート}$ (TA100 の S9 mix 添加試験は 2000 $\mu\text{g}/\text{プレート}$ 、TA1537 の S9 mix 無添加試験は 400 $\mu\text{g}/\text{プレート}$ 、添加試験は 1000 $\mu\text{g}/\text{プレート}$) とした。

〔本試験〕

S9 mix 無添加試験および添加試験とともに、上記の最高用量に基づいて公比2で5~7用量を設定して2回の本試験を実施した (Table 2、3)。その結果、いずれの検定菌においても、溶媒対照値の2倍以上となる変異コロニー数の増加は認められなかった。

CBTSAについて実施したすべての試験において、陽性対照群ではいずれの検定菌においても変異コロニー数の増加が認められ、溶媒対照群とともに計測された変異コロニー数はヒストリカルコントロール値の範囲内であったことから、本試験系の有効性が確認された。

【結 論】

以上の結果に基づき、*N*-シクロヘキシル-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミドは、用いた試験系において変異原性を有しないもの (陰性) と判定した。

【特 記 事 項】

試験の全過程を通して、信頼性に悪影響を及ぼすおそれのある予期し得なかった事態、および試験計画書からの逸脱はなかった。

【文 献】

- 1) Matsushima, T., Sugimura, T., Nagao, M., Yahagi, T., Shirai, A., Sawamura, M.: in "Short-Term Test Systems for Detecting Carcinogens" Norpoth, K.H., Garner, R.C. eds. Springer, Berlin-Heidelberg-New York (1980) pp. 273-285
- 2) Maron, D.M., Ames, B.N.: Mutat. Res. 113: 173-215 (1983)
- 3) Venitt, S., Crofton-Sleigh, C.: in "Evaluation of Short-Term Tests for Carcinogens" de Serres, F.J., Ashby, J. eds, Elsevier/North-Holland, New York (1981) pp. 351-360
- 4) Green, M.H.L.: in "Handbook of Mutagenicity Test Procedures" Kilbey, B.J., Legator, M., Nichols, W., Ramel, C. eds, Elsevier, Amsterdam, New York, Oxford (1984) pp. 161-187

Table 1. Results of preliminary cytotoxicity test in reverse mutation test of *N*-cyclohexyl-2-benzothiazolesulfenamide on bacteria

With (+) or without (-) S9 mix	Test substance dose (µg /plate)	Number of revertants (number of colonies / plate, mean ± S.D.)															
		Base - pair substitution type									Frameshift type						
		TA100			TA1535			WP2 <i>uvrA</i>			TA98			TA1537			
S9mix (-)	0	165	130	140	6	24	20	28	27	14	26	35	28	9	8	8	
		(145 ± 18.0)			(17 ± 9.5)			(23 ± 7.8)			(30 ± 4.7)			(8 ± 0.6)			
	50.0	157			14			13			37			6			
	150 c	140			11			19			29			6 *			
	500 c	146			5			22			31			10 *			
	1500 c	129			23			19			32			7 *			
	5000 c	104			13			19			19			7 *			
S9mix (+)	0	175	132	131	8	12	13	32	19	29	32	20	28	14	18	10	
		(146 ± 25.1)			(11 ± 2.6)			(27 ± 6.8)			(27 ± 6.1)			(14 ± 4.0)			
	50.0	133			12			20			33			6			
	150	128			8			33			30			12			
	500 c	117			7			16			28			13 *			
	1500 c	81 *			11			18			27			4 *			
	5000 c	47 *			9			20			23			5 *			
Positive control S9 mix (-)	Chemical	AF2			SA			AF2			AF2			9AA			
	Dose (µg /plate)	0.01			0.5			0.01			0.1			80			
Positive control S9 mix (+)	Chemical	2AA			2AA			2AA			2AA			2AA			
	Dose (µg /plate)	1			2			10			0.5			2			
S9 mix (+)	Number of colonies / plate	492	440	486	323	374	306	144	124	125	744	717	710	1023	1065	1065	
		(473 ± 28.4)			(334 ± 35.4)			(131 ± 11.3)			(724 ± 18.0)			(1051 ± 24.2)			
S9 mix (+)	Number of colonies / plate	832	827	800	264	234	231	672	603	604	316	305	287	312	324	334	
		(820 ± 17.2)			(243 ± 18.2)			(626 ± 39.6)			(303 ± 14.6)			(323 ± 11.0)			

AF2: 2-(2-Furyl)-3-(5-nitro-2-furyl)acrylamide, SA: Sodium azide, 9AA: 9-Aminoacridine, 2AA: 2-Aminoanthracene

*: Inhibition was observed against growth of the bacteria. c: Precipitate was observed on the surface of agar plates.

Purity was 98.8 % and 0.68 wt% dibenzothiazyl disulfide was contained as impurity.

Table 2-1. Results of reverse mutation test (I) of *N*-cyclohexyl-2-benzothiazolesulfenamide on bacteria

With (+) or without (-) S9 mix	Test substance dose (µg /plate)	Number of revertants (number of colonies / plate, mean ± S.D.)													
		Base - pair substitution type									Frameshift type				
		TA100			TA1535			WP2 <i>uvrA</i>			TA98				
S9mix (-)	0	150	141	126	10	11	10	18	14	31	18	24	25		
		(139 ± 12.1)			(10 ± 0.6)			(21 ± 8.9)			(22 ± 3.8)				
	156	146	133	115	10	7	8	ND			21	25	21		
		(131 ± 15.6)			(8 ± 1.5)						(22 ± 2.3)				
	313 c	137	119	118	9	9	6	18	21	18	23	16	25		
		(125 ± 10.7)			(8 ± 1.7)			(19 ± 1.7)			(21 ± 4.7)				
	625 c	119	124	124	10	16	14	25	19	15	23	21	16		
		(122 ± 2.9)			(13 ± 3.1)			(20 ± 5.0)			(20 ± 3.6)				
1250 c	140	118	126	16	15	13	11	20	13	20	27	18			
	(128 ± 11.1)			(15 ± 1.5)			(15 ± 4.7)			(22 ± 4.7)					
2500 c	126	102	98	8	9	7	24	20	24	23	27	31			
	(109 ± 15.1)			(8 ± 1.0)			(23 ± 2.3)			(27 ± 4.0)					
5000 c	86	105	98	9	8	12	13	16	29	26	22	19			
	(96 ± 9.6)			(10 ± 2.1)			(19 ± 8.5)			(22 ± 3.5)					
S9mix (+)	0				20	10	20	31	28	25	31	33	27		
					(17 ± 5.8)			(28 ± 3.0)			(30 ± 3.1)				
	156				19	6	12	ND			30	25	32		
					(12 ± 6.5)						(29 ± 3.6)				
	313				8	15	6	22	19	20	25	27	32		
					(10 ± 4.7)			(20 ± 1.5)			(28 ± 3.6)				
	625 c				9	8	8	21	18	20	19	23	18		
					(8 ± 0.6)			(20 ± 1.5)			(20 ± 2.6)				
1250 c				10	8	5	24	20	15	18	18	10			
				(8 ± 2.5)			(20 ± 4.5)			(15 ± 4.6)					
2500 c				14	15	13	19	21	24	15	23	16			
				(14 ± 1.0)			(21 ± 2.5)			(18 ± 4.4)					
5000 c				6	11	8	26	25	21	15	21	16			
				(8 ± 2.5)			(24 ± 2.6)			(17 ± 3.2)					
Positive control S9 mix (-)	Chemical	AF2			SA			AF2			AF2				
	Dose (µg /plate)	0.01			0.5			0.01			0.1				
Positive control S9 mix (+)	Chemical	2AA			2AA			2AA			2AA				
	Dose (µg /plate)	2			2			10			0.5				
Positive control S9 mix (+)	Number of colonies / plate	624	657	656	294	292	291	258	279	307	565	503	552		
		(646 ± 18.8)			(292 ± 1.5)			(281 ± 24.6)			(540 ± 32.7)				
Positive control S9 mix (+)	Number of colonies / plate				305	293	259	459	662	617	396	367	373		
					(286 ± 23.9)			(579 ± 106.6)			(379 ± 15.3)				

AF2: 2-(2-Furyl)-3-(5-nitro-2-furyl)acrylamide, SA: Sodium azide, 2AA: 2-Aminoanthracene

c: Precipitate was observed on the surface of agar plates.

Purity was 98.8 % and 0.68 wt% dibenzothiazyl disulfide was contained as impurity.

ND : Not done

Table 2-2. Results of reverse mutation test (I) of *N*-cyclohexyl-2-benzothiazolesulfenamide on bacteria

With (+) or without (-) S9 mix	Test substance dose (μg /plate)	Number of revertants (number of colonies / plate, mean \pm S.D.)					
		Base - pair substitution type			Frameshift type		
		TA100			TA1537		
S9mix (-)	0				13	14	16 (14 \pm 1.5)
	6.25				10	21	13 (15 \pm 5.7)
	12.5				21	18	21 (20 \pm 1.7)
	25.0				22	12	19 (18 \pm 5.1)
	50.0				16	9	8 (11 \pm 4.4)
	100				7 *	8 *	8 * (8 \pm 0.6)
	200 c				11 *	10 *	8 * (10 \pm 1.5)
	400 c				14 *	4 *	12 * (10 \pm 5.3)
S9mix (+)	0	147	144	154 (148 \pm 5.1)	16	22	19 (19 \pm 3.0)
	15.6	ND			11	20	22 (18 \pm 5.9)
	31.3	155	115	134 (135 \pm 20.0)	17	17	17 (17 \pm 0.0)
	62.5	146	126	130 (134 \pm 10.6)	17	16	14 (16 \pm 1.5)
	125	122	127	101 (117 \pm 13.8)	11	18	21 (17 \pm 5.1)
	250	113	139	124 (125 \pm 13.1)	13	18	18 (16 \pm 2.9)
	500	119	114	111 (115 \pm 4.0)	17 *	15 *	11 * (14 \pm 3.1)
	1000 c	94	99	115 (103 \pm 11.0)	4 *	6 *	4 * (5 \pm 1.2)
2000 c	51 *	33 *	13 * (32 \pm 19.0)				
Positive control S9 mix (-)	Chemical				9AA		
	Dose (μg /plate)				80		
Positive control S9 mix (+)	Number of colonies / plate				1259	1270	880 (1136 \pm 222.1)
	Chemical	2AA			2AA		
Positive control S9 mix (+)	Dose (μg /plate)	1			2		
	Number of colonies / plate	719	785	817 (774 \pm 50.0)	304	332	364 (333 \pm 30.0)

9AA: 9-Aminoacridine, 2AA: 2-Aminoanthracene

*: Inhibition was observed against growth of the bacteria. c: Precipitate was observed on the surface of agar plates.

Purity was 98.8 % and 0.68 wt% dibenzothiazyl disulfide was contained as impurity.

ND : Not done

Table 3-1. Results of reverse mutation test (II) of *N*-cyclohexyl-2-benzothiazolesulfenamide on bacteria

With (+) or without (-) S9 mix	Test substance dose (µg /plate)	Number of revertants (number of colonies / plate, mean ± S.D.)													
		Base - pair substitution type									Frameshift type				
		TA100			TA1535			WP2 <i>uvrA</i>			TA98				
S9mix (-)	0	166	137	139	9	7	14	18	23	29	19	23	23		
		(147 ± 16.2)			(10 ± 3.6)			(23 ± 5.5)			(22 ± 2.3)				
	156	123	121	119	7	11	7	ND			24	25	21		
		(121 ± 2.0)			(8 ± 2.3)						(23 ± 2.1)				
	313 c	96	140	138	10	8	4	18	19	26	12	22	19		
		(125 ± 24.8)			(7 ± 3.1)			(21 ± 4.4)			(18 ± 5.1)				
	625 c	129	116	133	6	10	5	20	24	21	15	24	25		
		(126 ± 8.9)			(7 ± 2.6)			(22 ± 2.1)			(21 ± 5.5)				
S9mix (+)	1250 c	91	144	107	9	10	8	20	17	33	21	19	20		
		(114 ± 27.2)			(9 ± 1.0)			(23 ± 8.5)			(20 ± 1.0)				
	2500 c	113	52	122	6	5	8	26	33	25	14	10	26		
		(96 ± 38.1)			(6 ± 1.5)			(28 ± 4.4)			(17 ± 8.3)				
	5000 c	39	79	102	4	8	7	29	26	31	13	18	18		
		(73 ± 31.9)			(6 ± 2.1)			(29 ± 2.5)			(16 ± 2.9)				
S9mix (+)	0				15	15	9	21	18	22	30	38	27		
					(13 ± 3.5)			(20 ± 2.1)			(32 ± 5.7)				
	156				13	20	14	ND			33	41	32		
					(16 ± 3.8)						(35 ± 4.9)				
	313				10	12	13	15	22	23	23	24	32		
					(12 ± 1.5)			(20 ± 4.4)			(26 ± 4.9)				
	625 c				13	14	14	24	17	22	26	24	18		
					(14 ± 0.6)			(21 ± 3.6)			(23 ± 4.2)				
1250 c				9	14	13	11	9	9	22	20	16			
				(12 ± 2.6)			(10 ± 1.2)			(19 ± 3.1)					
2500 c				8	11	10	19	15	17	25	27	22			
				(10 ± 1.5)			(17 ± 2.0)			(25 ± 2.5)					
5000 c				16	9	16	23	20	23	25	15	19			
				(14 ± 4.0)			(22 ± 1.7)			(20 ± 5.0)					
Positive control S9 mix (-)	Chemical	AF2			SA			AF2			AF2				
	Dose (µg /plate)	0.01			0.5			0.01			0.1				
Positive control S9 mix (+)	Chemical	2AA			2AA			2AA			2AA				
	Dose (µg /plate)	2			2			10			0.5				
S9 mix (+)	Number of colonies / plate	492	666	699	140	125	102	402	392	361	691	637	688		
		(619 ± 111.2)			(122 ± 19.1)			(385 ± 21.4)			(672 ± 30.3)				
	Number of colonies / plate				254	240	271	694	707	753	436	429	442		
					(255 ± 15.5)			(718 ± 31.0)			(436 ± 6.5)				

AF2: 2-(2-Furyl)-3-(5-nitro-2-furyl)acrylamide, SA: Sodium azide, 2AA: 2-Aminoanthracene

c: Precipitate was observed on the surface of agar plates.

Purity was 98.8 % and 0.68 wt% dibenzothiazyl disulfide was contained as impurity.

ND : Not done

Table 3-2. Results of reverse mutation test (II) of *N*-cyclohexyl-2-benzothiazolesulfenamide on bacteria

With (+) or without (-) S9 mix	Test substance dose (µg /plate)	Number of revertants (number of colonies / plate, mean ± S.D.)					
		Base - pair substitution type			Frameshift type		
		TA100			TA1537		
S9mix (-)	0				5 10 14 (10 ± 4.5)		
	6.25				19 16 12 (16 ± 3.5)		
	12.5				12 15 13 (13 ± 1.5)		
	25.0				20 13 17 (17 ± 3.5)		
	50.0				9 12 8 (10 ± 2.1)		
	100				10 7 6 (8 ± 2.1)		
	200 c				9 * 14 * 8 * (10 ± 3.2)		
	400 c				24 * 16 * 18 * (19 ± 4.2)		
S9mix (+)	0	170 149 141 (153 ± 15.0)			16 13 12 (14 ± 2.1)		
	15.6	ND			17 14 11 (14 ± 3.0)		
	31.3	149 139 139 (142 ± 5.8)			14 11 11 (12 ± 1.7)		
	62.5	138 141 134 (138 ± 3.5)			16 14 16 (15 ± 1.2)		
	125	149 140 149 (146 ± 5.2)			21 13 13 (16 ± 4.6)		
	250	122 144 133 (133 ± 11.0)			14 13 9 (12 ± 2.6)		
	500	121 158 169 (149 ± 25.1)			18 17 12 (16 ± 3.2)		
	1000 c	119 108 132 (120 ± 12.0)			3 7 8 * (6 ± 2.6)		
	2000 c	29 * 28 * 91 * (49 ± 36.1)					
Positive control S9 mix (-)	Chemical				9AA		
	Dose (µg /plate)				80		
	Number of colonies / plate				623 753 427 (601 ± 164.1)		
Positive control S9 mix (+)	Chemical	2AA			2AA		
	Dose (µg /plate)	1			2		
	Number of colonies / plate	826 842 883 (850 ± 29.4)			277 296 341 (305 ± 32.9)		

9AA: 9-Aminoacridine, 2AA: 2-Aminoanthracene

*: Inhibition was observed against growth of the bacteria. c: Precipitate was observed on the surface of agar plates.

Purity was 98.8 % and 0.68 wt% dibenzothiazyl disulfide was contained as impurity.

ND : Not done